

公認心理師の会 2024年度 研修会 ワークショップ一覧

2024年11月10日(日) WS1・WS2・WS3【午前】

WS1 【3時間】	日時	11月10日(日) 10:00~13:00	会場	第1会場 (KOMCEE East K211)
	企画	医療部会		
	タイトル	医療領域で用いる知能検査の取り方とフィードバックのポイント		
	司会	武田 知也 (人間環境大学)	講師	上岡 義典 (四国大学)
	概要	<p>日頃の様子や行動観察・面接からだけでは理解しにくい心理学的特性を“可視化”してくれるのが心理検査です。近年、ノルム(基準)を最新のものに必要性から、知能検査の改訂間隔が5~10年間くらい短縮されてきています。また、結果のフィードバックに関する研究も増えてきています。本研修会では、まず医療現場における知能検査の実施目的や留意点について、意思伝達や姿勢・運動・動作に困難さを有する肢体不自由児の方を対象とした場合も含めて取り上げます。次に、結果のフィードバックに関して、チームアプローチ・連携協力の観点から医療従事者や教育・福祉関係者を対象とした場合、本人や保護者に伝える際のポイントについて考えます。加えて、結果に基づく支援の在り方についても触れます。約35年間にわたる保健医療・教育・福祉現場での心理臨床実践をベースに、タイトルに係る様々な提案をさせていただき予定です。参加者の皆さまにとって、知能検査の更なる有効活用について考える一つの機会になれば幸いです。</p>		
	想定する対象者	医療現場で働く心理職(実務経験が10年未満)の方を基本的にイメージしています。		
WS2 【3時間】	日時	11月10日(日) 10:00~13:00	会場	第2会場 (KOMCEE East K212)
	企画	研修会委員会		
	タイトル	公認心理師が知っておくべき心理支援シリーズ ト라우マに対する心理支援:認知処理療法の基本を学ぶ		
	司会	佐藤 さやか (NCNP)	講師	伊藤 正哉 (NCNP) 高岸 百合子 (NCNP) 堀越 勝 (武蔵野大学)
	概要	<p>本研修では、トラウマへの認知処理療法(Cognitive Processing Therapy; CPT)を紹介します。これまで、様々なトラウマティックな出来事を経験した人の心的外傷後ストレス症(PTSD)を対象に、44のランダム化比較試験によりその有効性が報告されてきました。本研修では、CPTの基本的な考え方や、治療手続きを紹介します。また、デモンストレーションビデオを見ていただいたり、エクササイズをしたりして、CPTを臨床適用する練習を行います。令和6年度診療報酬改定において公認心理師が関与する業務として新設された心理支援加算における活用も考えます。認知処理療法の初歩的な側面を知りたい方は『こころを癒すノート(創元社)』を、詳細を知りたい方は『トラウマへの認知処理療法:治療者のための包括手引き(創元社)』を通読しておくことを推奨します。また、『認知処理療法 退役軍人/軍版:治療者用マニュアル』、『認知処理療法 退役軍人/軍版:マテリアルマニュアル』は、以下のサイトから無償でダウンロード可能です。 http://cptforptsd.com/CPT%20Resources/</p>		
	想定する対象者	トラウマケアを学びたい公認心理師や、公認心理師を目指されて修士課程以上の専門性をお持ちの方。医師、看護師、保健師、精神保健福祉士等のご参加も歓迎いたします。		
WS3 【3時間】	日時	11月10日(日) 8:30~11:30	会場	第3会場 (KOMCEE East K213)
	企画	教育・特別支援部会		
	タイトル	学習に課題を抱える児童生徒への支援:特に算数に困難を抱える子どもへの支援		
	司会	大橋 智 (東京未来大学)	講師	熊谷 恵子 (筑波大学)
	概要	算数の困難がある子ども達の中には、知的境界線児や算数障害、算数不安の子どもたちがいる。それらの内容と割合を説明して、これからの算数の支援について述べる。		
	想定する対象者	心理士、学校教員		

2024年11月10日(日) WS4・WS5・WS6【午後】

WS4 【3時間】	日時	11月10日(日) 14:00~17:00	会場	第1会場 (KOMCEE East K211)
	企画	福祉・障害部会		
	タイトル	精神障害・発達障害のある人への地域相談支援		
	司会	下山 真衣 (信州大学)	講師	本間 貴宣 (一般社団法人しん)
	概要	このワークショップは、精神障害・発達障害者支援に携わる心理職、支援者、教育関係者などを対象として、地域支援での実践的な知識とスキルを学んでいただくことを目的としています。価値観の多様化にともない困りごとや相談内容も複雑化・重層化しつつある昨今、地域相談支援の実践も変化が求められています。内容としては、話題提供として地域相談支援の実践者からの発表に加えて、参加者同士のグループワーク、座談会、質疑応答を予定しています。現場で直面する様々な課題に対して、相互の経験や知見を共有しつつ新たな地域相談支援のあり方を模索してみたいと思います。地域での支援体制や、より良い支援のあり方を考える機会になれば幸いです。		
	想定する対象者	公認心理師、地域で精神障害・発達障害のある人への相談支援に携わっている職員、教員。		
WS5 【3時間】	日時	11月10日(日) 15:15~18:15	会場	第2会場 (KOMCEE East K212)
	企画	研修会委員会		
	タイトル	シリーズ 公認心理師が知っておくべきアセスメント技法 知能検査WISC-Vの理論的背景と結果の解釈		
	司会	丹野 義彦 (公認心理師の会理事長)	講師	大六 一志 (フリーランス 公認心理師)
	概要	WISC-Vは代表的な知能検査WISCの改訂第5版であり、2022年に日本版が刊行された。本ワークショップは講義形式で、WISC-Vの理論的背景と、検査結果の解釈、および結果に基づく指導・支援について解説する。すなわち、WISC-Vでは基盤となる理論が大幅に更新され、CHC理論に準拠するようになった。これにより、従来WISCでは曖昧で読み取りづらかったことが明確に解釈できるようになり、また、他の検査とクロスバツテリーで結果を解釈することが容易になった。しかし一方で、WISCがいかに進化しようと、検査結果を日常生活の困難や指導・支援と結びつけるためには、WISCの知識だけでは不十分で、認知心理学や発達心理学の知識が不可欠である。本ワークショップでは、こうした知識をWISCの検査結果と関係づけながら、指導・支援につなげる考え方を紹介する。なお、実施法や集計法には触れない。また、話の中心は合成得点(FSIQおよび指標得点)であり、下位検査の内容や解釈には言及しない。		
	想定する対象者	職務上、WISCの検査結果の読み取りを必要とする方。ご自身で検査を実施し、報告書を書く立場にある方はもちろん、実施することなくとも職務上結果の解釈や支援・指導を知る必要がある方(スクールカウンセラー等)についても、受講していただけるとよいと思います。		
WS6 【3時間】	日時	11月10日(日) 14:00~17:00	会場	第3会場 (KOMCEE East K213)
	企画	司法・犯罪・嗜癖部会		
	タイトル	矯正処遇におけるアセスメントと心理学的アプローチ		
	司会	浅見 祐香 (目白大学)	講師	浦田 洋 (京都橘大学)
	概要	成人犯罪者や非行のある少年という司法領域の対象者に対するアセスメントについての基本的な考え方を説明し、それから、かつてのアセスメントの在り方と現行の在り方の異同について概括する。そして、各種アセスメントの結果に示された、司法領域の対象者の特徴を紹介する。さらに、最近の知見を基に近年実施されている、司法領域の対象者に対する科学的根拠に基づく心理学的アプローチを解説する。加えて、海外の研究者による我が国の犯罪の特徴についての見立てや、心的外傷を抱える被収容者に対する米国のアプローチ、及び欧米で広く採用されている社会内処遇についても紹介する。		
	想定する対象者	非行・犯罪領域で実務に携わっている会員や、犯罪者や非行のある少年を対象として研究に従事している会員、その他、非行・犯罪領域で実務に携わっている会員。犯罪者や非行のある少年を対象とした、研究・調査に従事している会員。その他、司法・犯罪領域の活動に興味を持っている会員。		

2024年11月17日(日) WS7 【WEB開催（ライブ配信）】

※後日オンデマンド配信を予定。

開催方法が決定しましたら、公認心理師の会のホームページや公式Xなどで広報いたします。

また、後日のオンデマンド配信は、別途お申込と参加費用のお支払いが必要となります。

WS7 【3時間】	日時	11月17日(日) 13:00~16:00	WEB	ライブ配信
	企画	産業・労働・地域保健部会		
	タイトル	労働関連法令についての基本的理解と実務への応用		
	司会	島津 美由紀 (ソニーピープルソリューションズ(株))	講師	森本 英樹 (森本産業医事務所)
	概要	公認心理師の会 コンピテンス・リストに基づき労働法令関係の解説を行う。		
	想定する対象者	産業労働分野で働く、もしくは産業労働分野に関心を持つ公認心理師。		